

所得税、個人住民税の急増による影響及び福生市の対応

乙津 豊彦 議員

質問 平成22年度税制改正により影響が出る福生市の制度はどのくらいあるか。また、それに対して市はどのような対応策をとられたか。

市長 福生市で税制改正の影響を受ける制度や事業は28となっている。しかし、国は法律改正や通知の発出を行って税制改正による影響を抑える措置を講じており、これに基づき再計算をして対応しているので、市民への影響はない。



▲住民税（市・都民税）納税通知書

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、17人の議員が市政全般にわたり一般質問を行ないました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式(一括と一問一答の併用)のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし、4ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

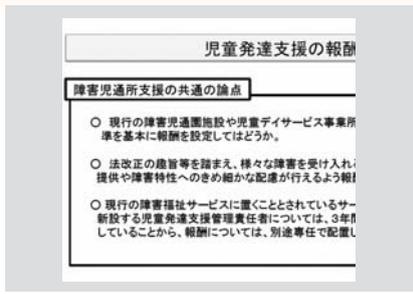
詳しくは、11月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

放課後等児童デイサービスの実現に向けた市の取り組み

青海 俊伯 議員

質問 放課後等児童デイサービスの実現に向けての市の取り組みを確認したい。

市長 放課後等デイサービス事業所を開設しようとする民間法人等への支援として、補助割合10割の東京都障害者自立支援基盤整備事業補助金の申請を案内し、東京都所管課へ相談するようアドバイスしている。東京都との協議の際には推薦意見等の協力を行っている。



▲児童デイサービスの検討資料（厚生労働省）

指定管理者制度導入によってどのような効果が得られたか

武藤 政義 議員

質問 福生市では平成18年度より指定管理者制度が導入されたが、それにより得られた効果を伺いたい。

市長 指定管理者制度を導入した全施設の6年間の累計で、直営で行った場合と比較して約6億円のコスト削減効果があったと試算している。また、民間の専門的知識や技術、ノウハウあるいはスケールメリットを生かした管理運営がなされ、市民サービスの向上にもつながっている。



▲指定管理者に運営されている福生市民会館

生活保護費が増大する中、メリハリのある生活保護行政を

末次 和夫 議員

質問 住宅扶助費の直接納付などできることを行い、就労支援など自立支援に力を入れる一方、不正受給防止のための審査の厳格化を行うなど、メリハリのある生活保護行政が必要ではないか。

市長 自立に向けての就労支援の強化や重複・頻回受診の縮減、ジェネリック医薬品の使用勧奨等の徹底により、生活保護制度を適正に運営し、生活保護費の抑制を図りたい。



▲生活保護の受付窓口及び相談室

横田基地の景観活用上、現在の塀をどのように考えるか

町田 成司 議員

質問 横田基地の塀がなぜ金網ネットからコンクリート防護壁になったのか。金網ネットに戻すよう要望する考えはないか。

市長 国道16号線の拡幅後、道路に近接する居住者への国道からの自動車騒音や排気ガスを軽減するため、米軍の負担で塀にしたもので、米軍からは、現状のままだと望ましいと考えているので理解いただきたいとのことであった。



▲国道16号線沿いの横田基地の塀

今年62回目を迎えた福生七夕まつりの今後の展望は

大野 悦子 議員

質問 市民模擬店の取り組みが始まってから市民まつりのイメージが強くなっているが、変化する社会経済状況の中で、今後どのような取り組みを行っているのか。

市長 福生七夕まつりは市の知名度を上げ、商業振興に寄与している。今後も変化を恐れない攻めの姿勢で、実行委員会を初め市民の皆様とともに七夕まつりをつくり上げていきたい。



▲第62回福生七夕まつり

需要の増加が見込まれる成年後見制度の問題と課題は

柳川 英司 議員

質問 家族関係の希薄化に伴い、成年後見人申し立て件数は右肩上がりで増えており、今後もその傾向は続くと考えられるが、この制度の問題と課題について伺いたい。

市長 制度の周知不足や、申し立て手続の煩雑さ、費用負担の大きさ等、さまざまな問題点がある。今後、増大していく需要に見合うだけの成年後見人をいかに確保・育成していくかが大きな課題となる。



▲社会福祉協議会内の成年後見センター福生

認定こども園の今後の設置の見通しは

大野 聡 議員

質問 今回の補正予算案で認定こども園の開設が提案されているが、今後、施設設置の見通しや、市の支援について伺いたい。

市長 市内の学校法人から認定こども園の開設計画案を受けており、支援するための補正予算を本議会に計上している。来年4月の待機児童の状況を見ながら、今後の設置や支援の方向性について検討したい。



▲開設から3年目を迎える牛浜こども園

消防団員に対する健康診断の充実に取り組んでほしい

清水 義朋 議員

質問 平成16年消防庁通知で、消防団員等に対する健康診断等の充実を要請されているが、市ではどのように対応しているか。

市長 現在、自営業を営んでいる等の40歳未満の消防団員約40名については、健康診断受診の有無を把握していない。健康管理の充実のために健康診断は重要であり、受診機会のない団員については、今後、市での健康診断の実施を検討したい。



▲福生消防署管内消防団員研修会(健康管理等セミナー)の様子